

平成20年3月期 決算説明会

平成20年5月19日



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>

目次

1. 平成20年3月期の実績
2. 新中期総合計画WINNING PLAN Third Stage
“Be the Most Reliable Partner!” (平成20年4月～平成23年3月)
3. 平成21年3月期の計画

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

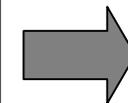
1. 平成20年3月期の実績

単体業績状況

大幅な増収増益を達成
売上高・当期純利益ともに過去最高

(単位：百万円、%)

	金額	売上 比率	計画比	前期比
売上高	40,839	-	100.0	110.7
売上総利益	8,044	19.7%	97.5	108.9
営業利益	4,717	11.6%	97.3	114.1
経常利益	4,939	12.1%	96.9	116.2
当期純利益	2,865	7.0%	95.5	115.7



FAITECを加味すると概算)

金額	前期比
46,320	113.8
9,028	112.9
5,379	118.5
5,599	120.3
3,256	119.8

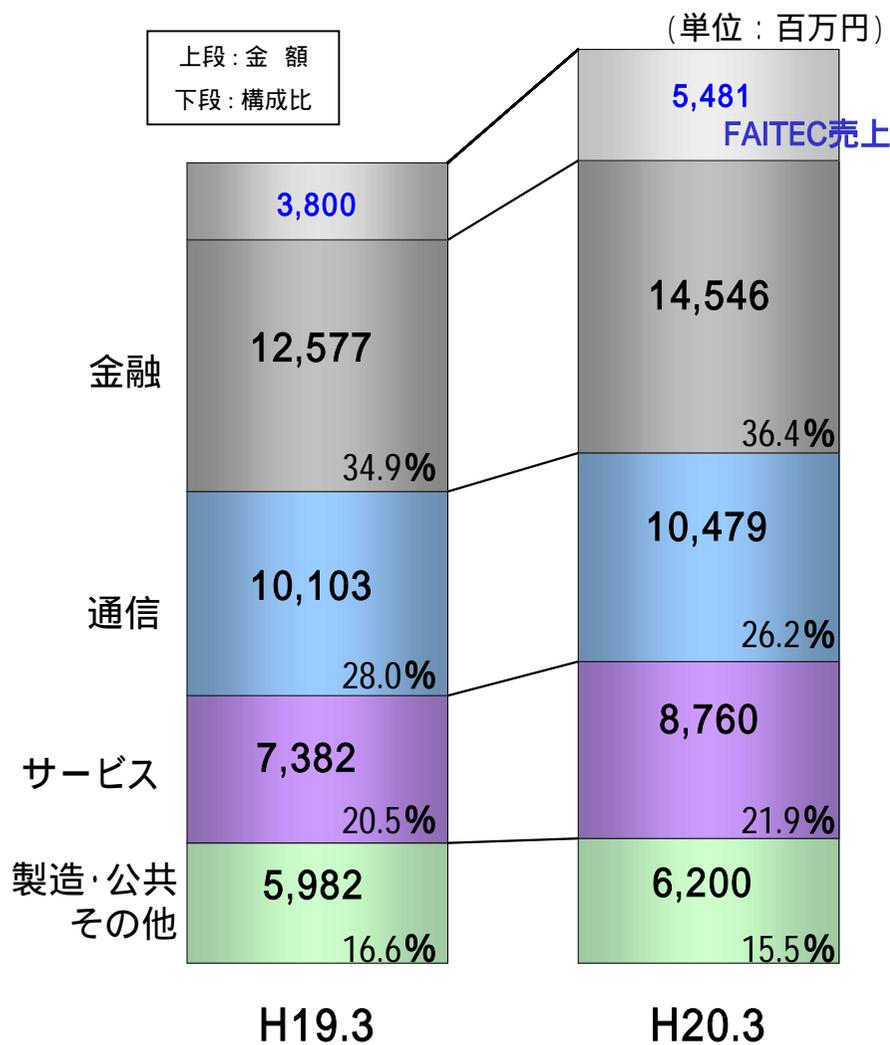
サービス別売上高の状況(単体)

システム、ネットワークが牽引し、前期比10.7%増

(単位：百万円、%)		金額 (構成比)	計画比	前期比		金額	前期比
情報サービス		39,986 (97.9%)	99.2	110.9	→ FAITECを加味すると(概算)	45,467	114.1
	システム	27,431 (67.2%)	100.5	113.6		32,913	117.7
	オペレーション	6,467 (15.8%)	96.8	102.2		6,467	102.2
	ネットワーク	6,087 (14.9%)	96.4	109.4		6,087	109.4
プロダクト		852 (2.1%)	155.0	99.0		852	99.0
計		40,839 (100.0%)	100.0	110.7		46,320	113.8

エンドユーザ別売上高 (単体: 情報サービス)

金融、サービス業が好調 通信、その他も堅調



金融 (前期比 115.7%) 好調
 [FAITECを加味すると前期比 122.3%]
 都市銀行向け統合案件
 電子マネー案件
 生保案件(FAITEC: 前期比144.2%)

通信 (前期比 103.7%) 堅調
 次世代通信基盤案件
 × 特定顧客での投資縮小

サービス(前期比 118.7%) 好調
 ICカード案件
 電子マネー案件
 (幅広いサービス業者からの売上増加)

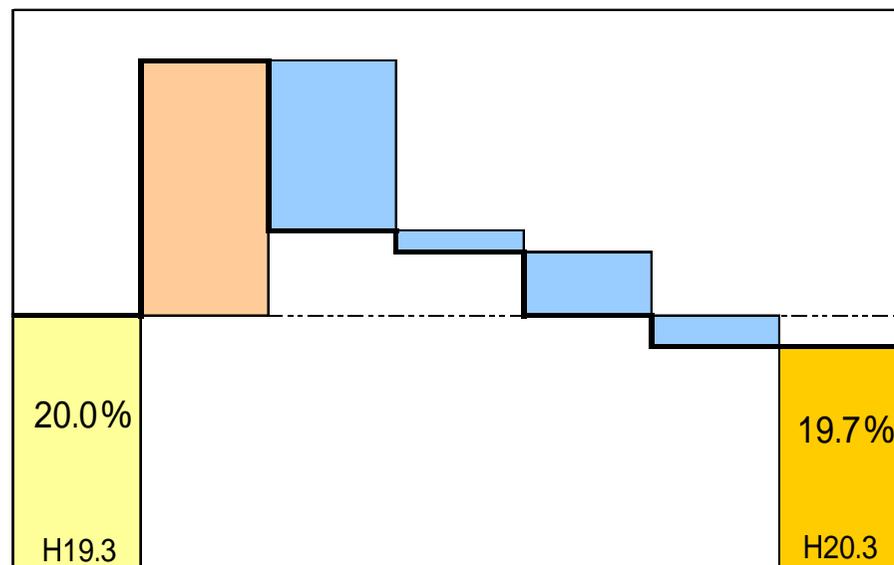
その他 (前期比 103.6%) 堅調
 組込み系(デジタル家電)案件
 × 公共向け案件

[注] エンドユーザ別分類についてはお客様の業態変更等により前期、今期ともに見直しております。

売上総利益 (単体)

売上単価の上昇は緩やか
 利益率は前期並みを確保 (額は前期比8.9%増加)

売上総利益 8,044百万円 (前期比 108.9%)
 売上比率 19.7%
 [前期 7,386百万円、売上比率 20.0%]



売上単価の改善等 +2.4ポイント

労務単価の上昇 1.6ポイント

外注単価の上昇 0.2ポイント

外注比率の上昇 0.6ポイント

低採算案件 0.3ポイント

↓
 利益率0.3ポイント低下

営業利益、経常利益 (単体)

販管費率の低下により営業利益率が向上

販管費 3,326百万円 (前期比102.3%、売上比率8.1%(前期比 0.7pt))

中期総合計画に基づく戦略的費用の増加 + 75百万円

新市場開発の推進
オフショア推進および海外展開
教育研修充実
などの戦略的費用

営業利益 4,717百万円 (前期比114.1%、売上比率11.6%(前期比 + 0.4pt))

子会社からの受取配当金増加など + 101百万円

経常利益 4,939百万円 (前期比116.2%、売上比率12.1%(前期比 + 0.6pt))

配当金

35円(5円増配)で過去最高

当期純利益 2,865百万円 (前期比 115.7%、売上比率 7.0% (前期比 + 0.3pt))

安定・継続的に一定額
 今後の事業展開に必要な内部留保を考慮しつつ
業績に応じて増額

中間配当金(円)	期末配当金(円)	年間配当金(円)
10*(10*)	25(20*)	35*(30*)

* 株式分割後に換算。括弧は前期実績。

連結業績状況

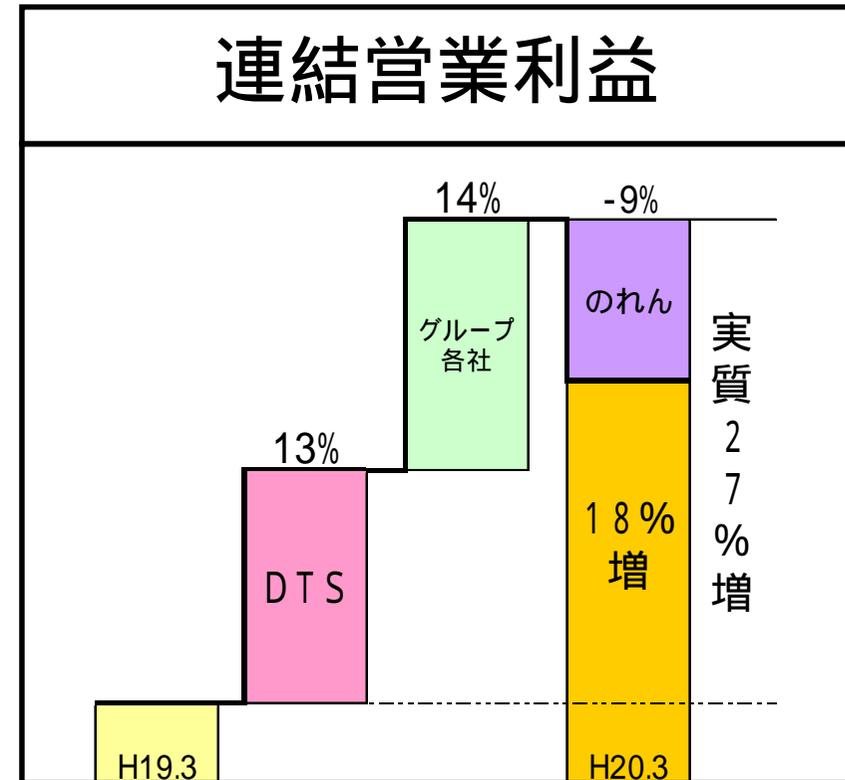
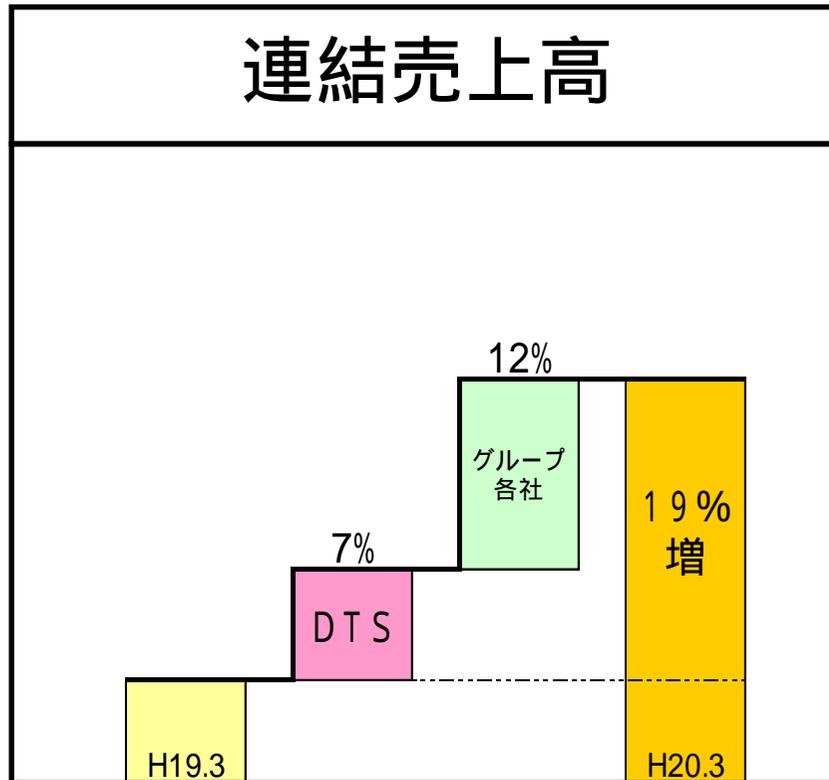
売上増および売上総利益率の改善により
 販管費(のれん償却費を含む)の増加分をのみ込み大幅増益

(単位：百万円、%)	金額	売上比率	計画比	前期比	連単倍率
売上高	61,801		99.7	118.9	1.51倍
売上総利益	11,695	18.9 (+ 0.3pt)	99.5	120.8	1.45倍
営業利益	5,598	9.1 (± 0.0pt)	102.7	117.8	1.19倍
経常利益	5,634	9.1 (0.1pt)	101.5	117.8	1.14倍
当期純利益	2,941	4.8 (0.1pt)	105.0	114.7	1.03倍

販管費 6,097百万円(前期比123.8%、売上比率9.8%(前期比+ 0.3pt))

グループ各社の連結業績寄与度

実質営業利益(のれん償却費を戻し入れた)伸び率は、
売上高伸び率を超える27%



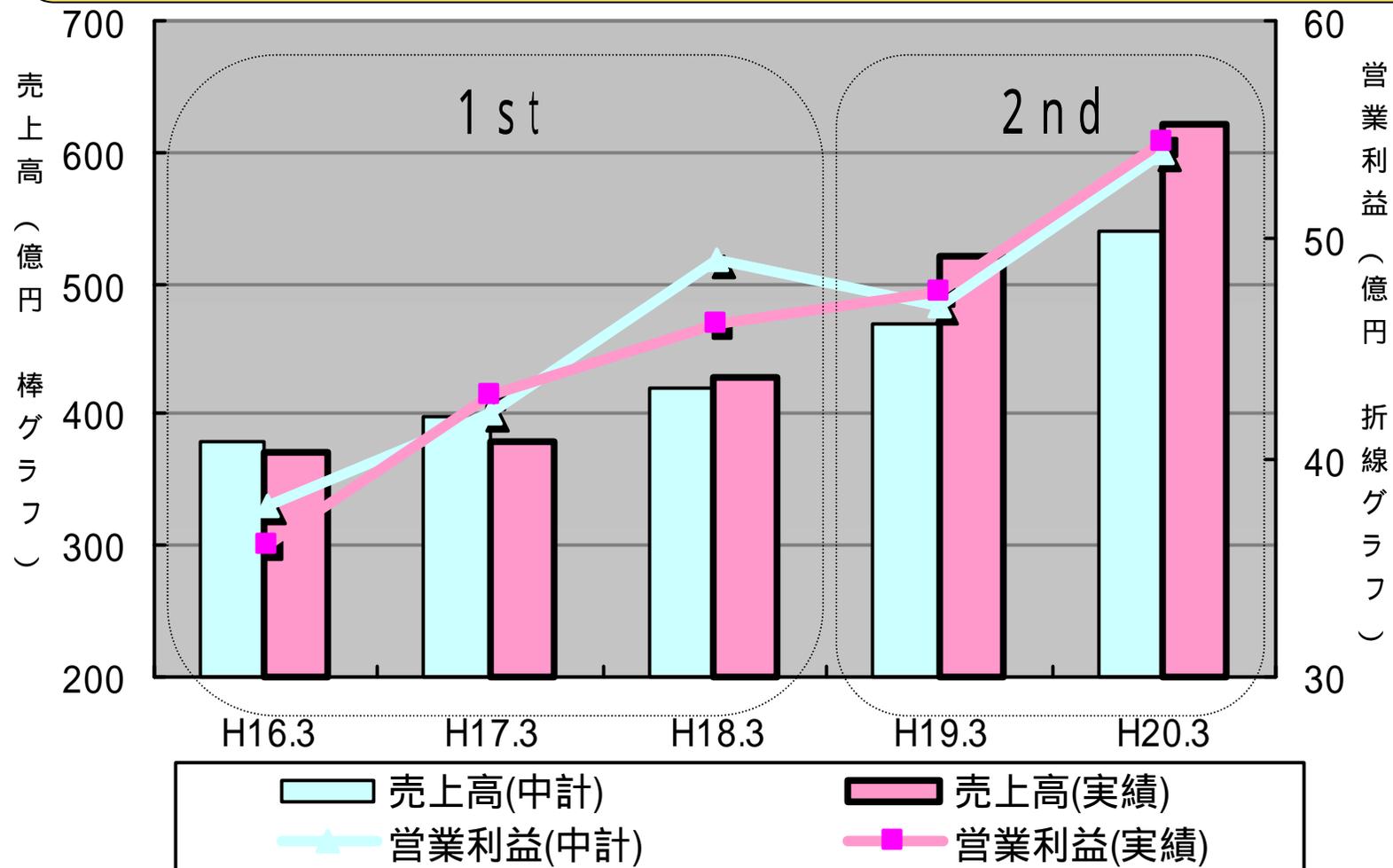
2 . 新中期総合計画

WINNING PLAN Third Stage
“Be the Most Reliable Partner !”

(平成20年4月 ~ 平成23年3月)

前中期総合計画までの実績

2nd Stageの最終売上高目標: 600億円を
1年前倒しで達成



市場環境と当社の取り組み

【顧客要求の高度化】

戦略的IT活用(攻めのIT活用)
IT分野の全面委託
コストパフォーマンス
品質水準
コンプライアンス重視

【業界環境の変化】

オフショア勢力の台頭
少子高齢化、人材不足
派遣法による請負適正化
業界再編による寡占化の進展

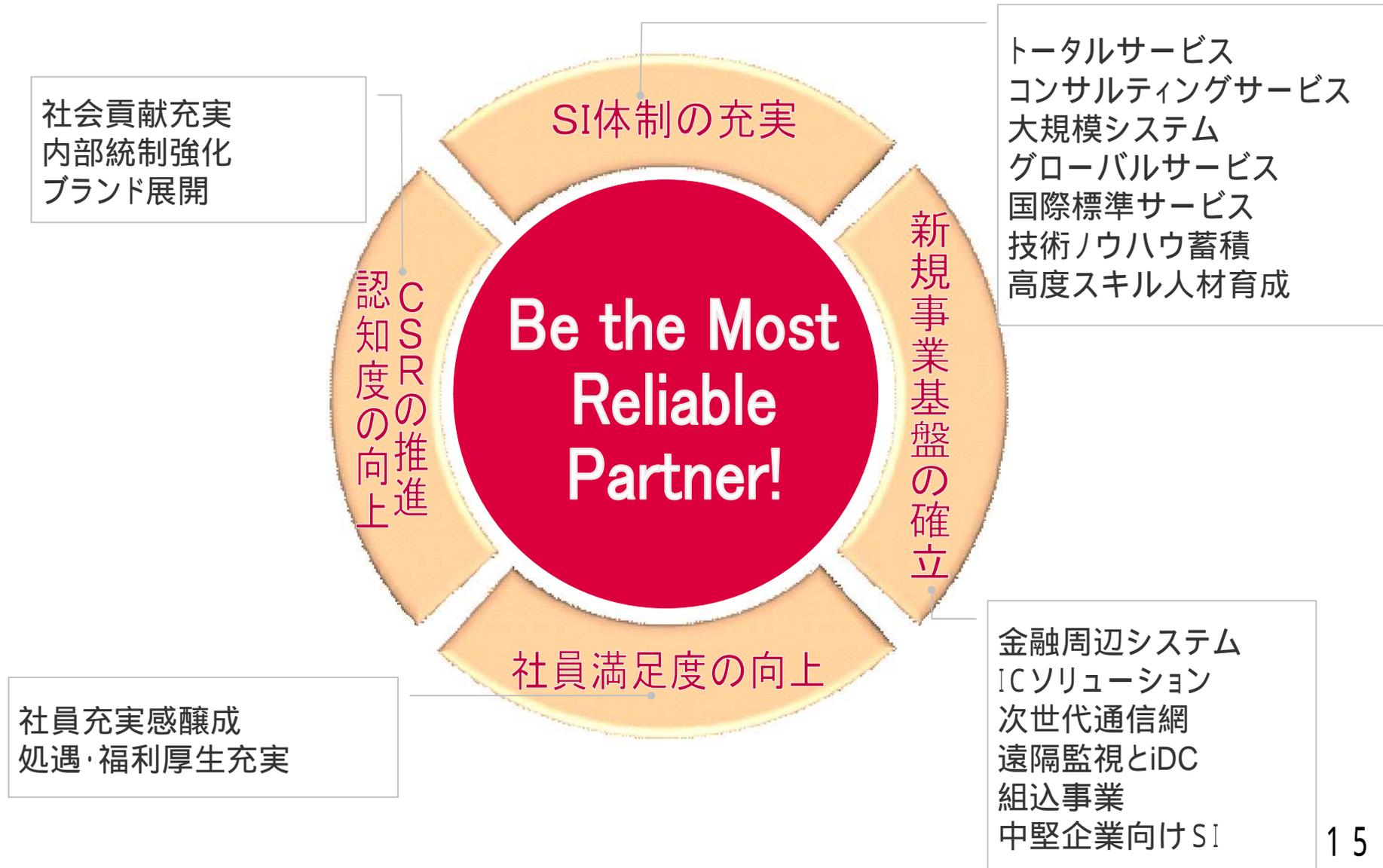
マーケットの**流動化** + 顧客による**選別**

総合力に基づく**信頼感**がある企業
(= 生き残る企業)

WINNING PLAN Third Stage

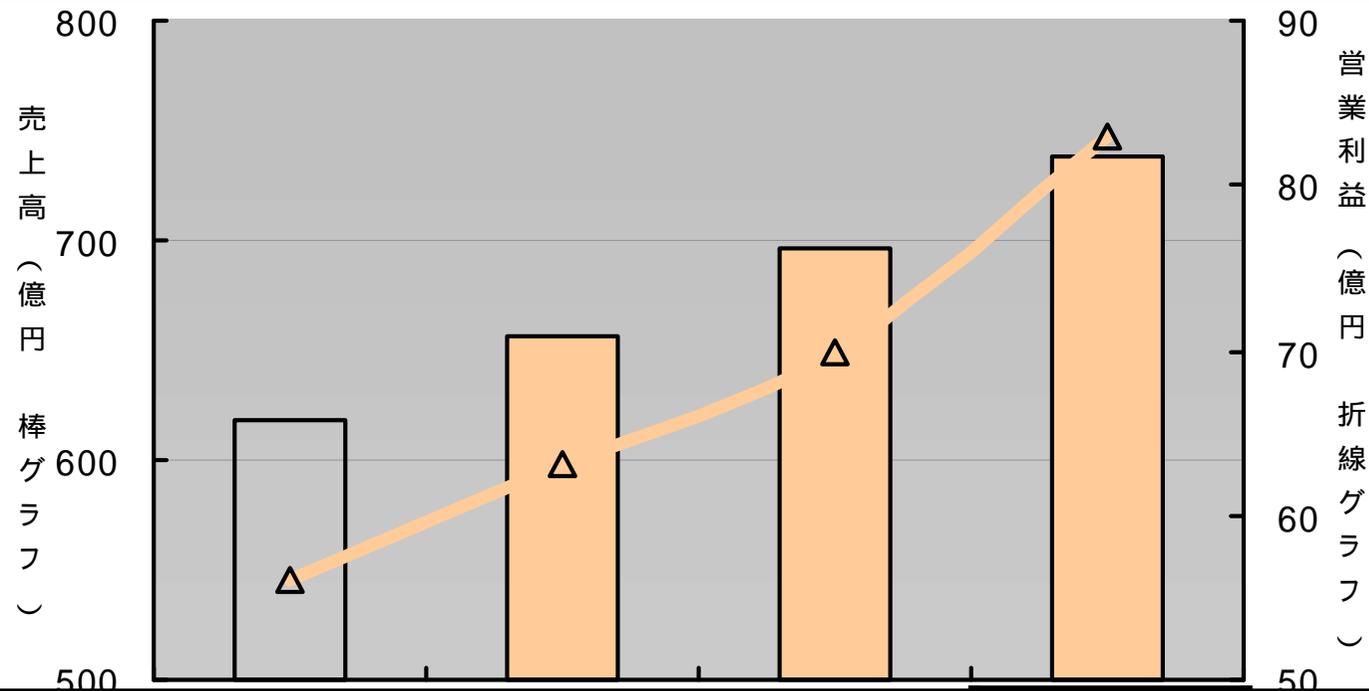
“Be the Most Reliable Partner !”

新中期総合計画の戦略



新中期総合計画の連結経営目標

売上高：平均6%成長　営業利益：平均15%成長
資本業務提携を含めた最終年度の売上目標：800億円

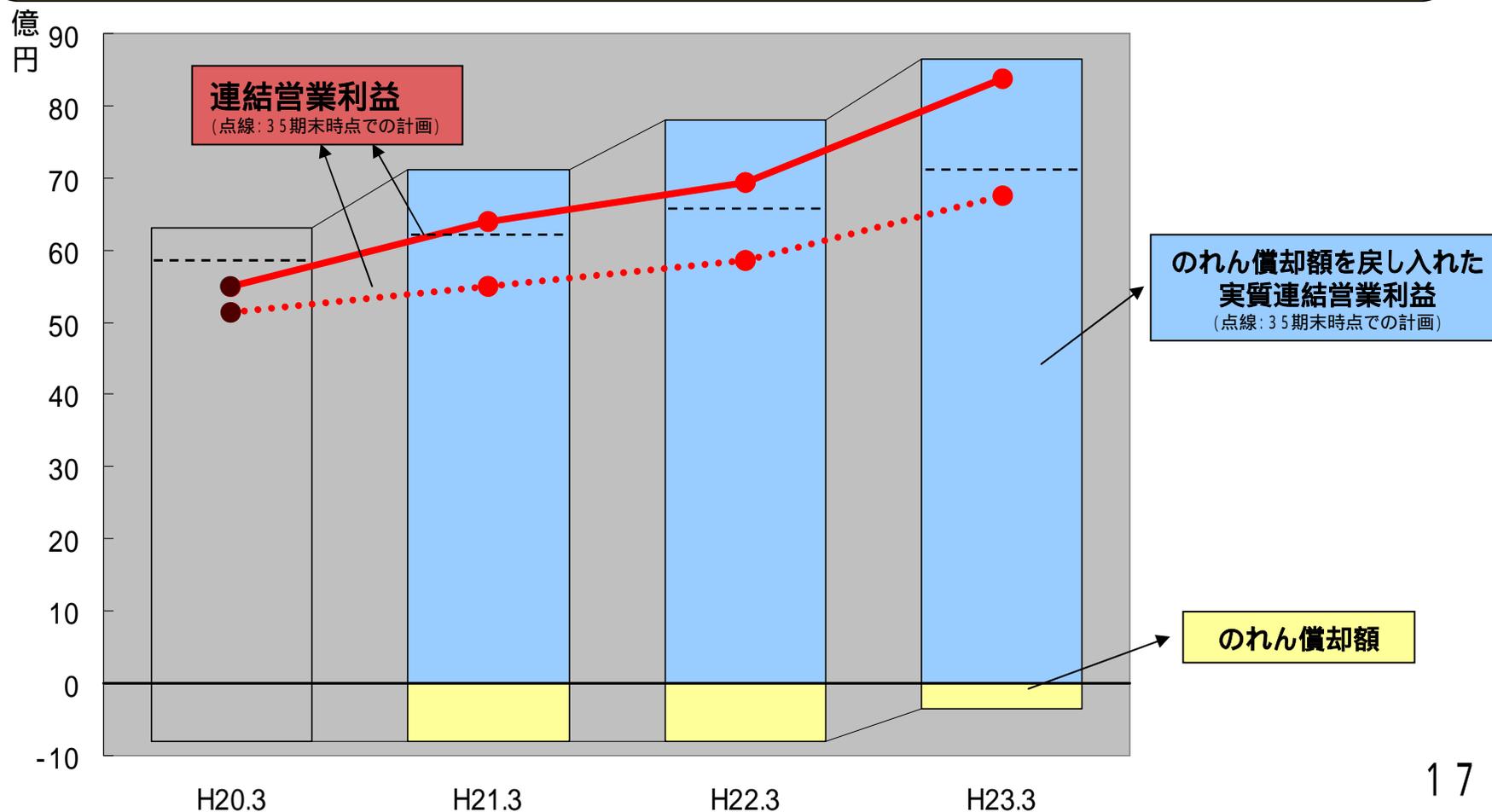


	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	平均成長率
売上高(億円)	618	657	696	738	6%
営業利益(億円)	55	63	70	83	15%
営業利益率(%)	9.1	9.6	10.1	11.2	
連結社員数(人)	4,170	-	-	5,000	

営業利益とのれん償却費の推移

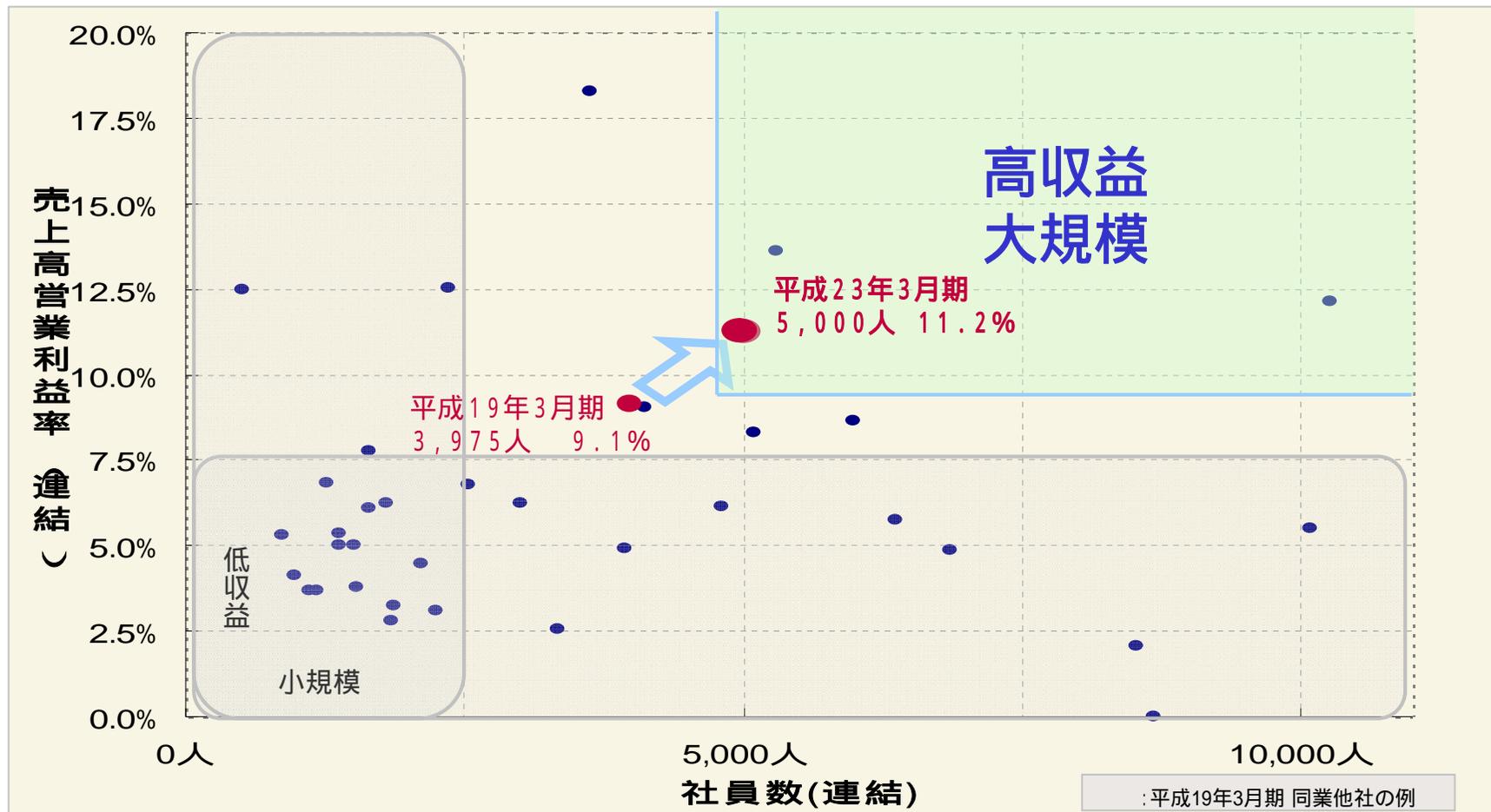
(35 期末計画との比較)

新連結子会社とのシナジー効果の早期化により
35 期末時点での計画を大幅に上方修正



新中期総合計画でのポジショニング目標

業績のさらなる向上と企業体力の増強を達成し、
高収益・大規模Sierへ



3 . 平成 2 1 年 3 月 期 の 計 画

平成21年3月期 単体・連結計画

SI事業の拡大・グループ総合力強化により
過去最高の売上高・当期純利益を計画

単体

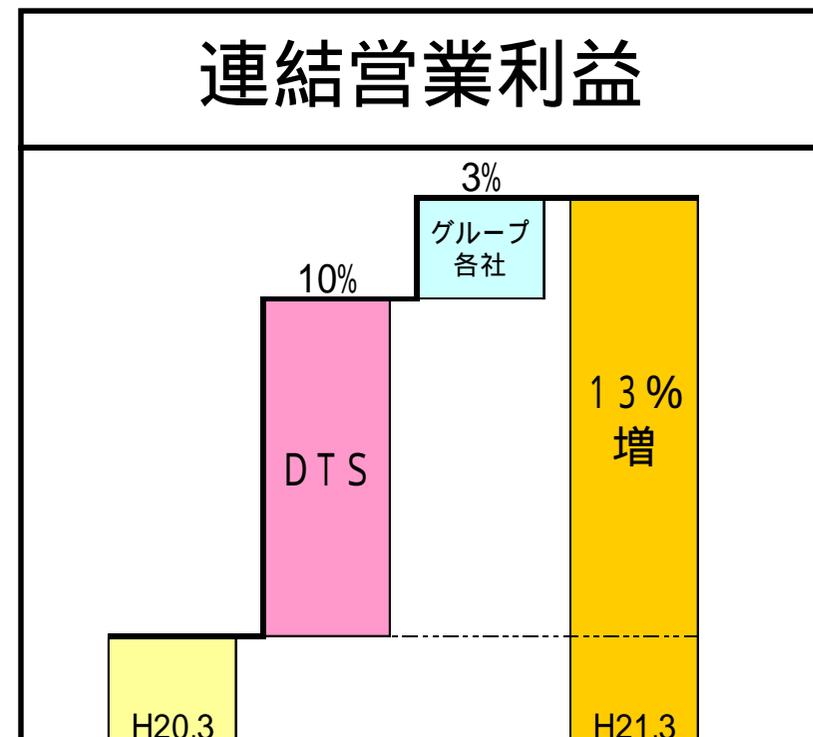
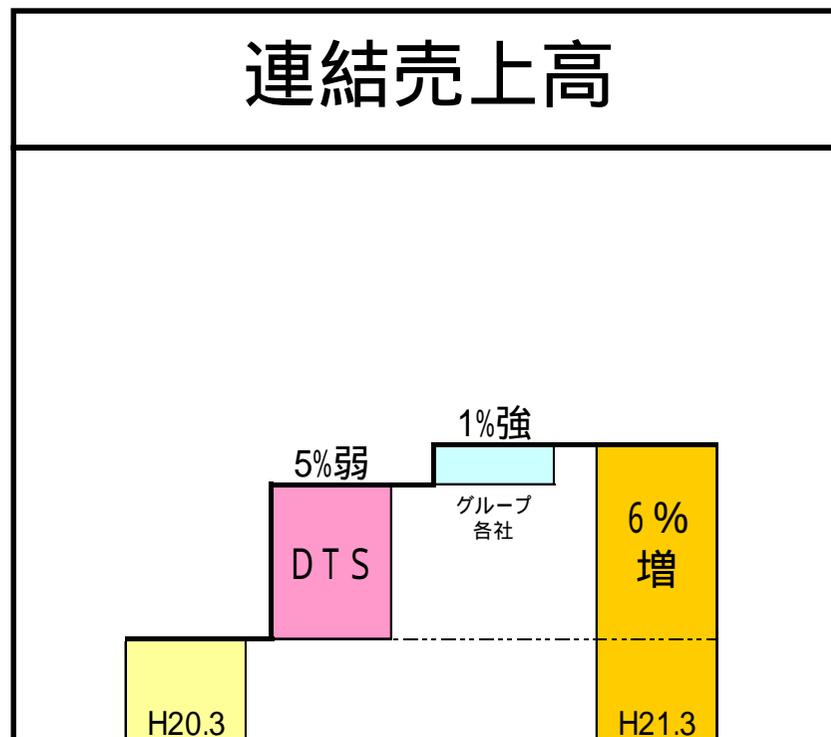
連結

(単位：百万円、%)

	単体			連結			
	金額	売上比率	前期比	金額	売上比率	前期比	連単倍率
売上高	43,700	-	107.0	65,700	-	106.3	1.50倍
売上総利益	8,750	20.0	108.8	12,782	19.5	109.3	1.46倍
営業利益	5,250	12.0	111.3	6,300	9.6	112.5	1.20倍
経常利益	5,437	12.4	110.1	6,360	9.7	112.9	1.17倍
当期純利益	3,207	7.3	111.9	3,342	5.1	113.6	1.04倍

平成21年3月期 グループ各社連結業績寄与度

安定成長環境の下
売上成長以上の利益成長を計画



平成21年3月期 配当計画

安定・継続的に一定額
 今後の事業展開に必要な内部留保を考慮しつつ
 業績に応じて増額

(単位：円)

会計年度	中間配当金	期末配当金	年間配当金
平成20年3月期	10*	25	35*
平成21年3月期計画	15	20	35

* 2007年10月実施の株式分割後の配当額に換算